

平成29年1月16日

名古屋市長

河村 たかし 様

## 平成29年度予算編成に対する再要望

### 減税日本ナゴヤ

団 長	鹿島 としあき
副 団 長	浅 井 康 正
幹 事 長	田 山 宏 之
副 幹 事 長	大 村 光 子
政 審 会 長	余 語 さ や か
副 政 審 会 長	佐 藤 ゆ う こ
財 務 委 員 長	鈴 木 孝 之
広 報 委 員 長	佐 藤 あ つ し
幹 事	高 木 善 英
団 員	鎌 倉 安 男
団 員	増 田 成 美
団 員	手 塚 将 之

---

## 総務局

---

- 障害者雇用促進法の趣旨に基づき、障がい者の雇用を積極的に行うこと。
- アジア大会開催にあたり、県と密に協力し、適切な予算を確保すること。また、予算の内容については、市民に対して積極的な情報発信・情報開示を行い、アジア大会開催に関する機運を醸成すること。
- セクシャルマイノリティ（いわゆる LGBT 等）の方々が相談できる環境整備、他都市で導入されはじめている同性パートナーシップ制度等、セクシャルマイノリティに対するさらなる支援を積極的に検討すること。（所管局調整中事項）

---

## 環境局

---

- 資源回収の今後のあり方について、政令指定都市における資源回収方法の調査と世帯アンケートを行うこと。また、各戸回収のモデル地区事業を検討すること。
- いわゆるゴミ屋敷等の対策を、関係局と連携を図り、講じること。

---

## 財政局

---

- 減税による寄付文化の育成を促進するため、ふるさと納税に関しては税制優

遇措置を勘案し、オンライン決済等を行っているところであるが、今後も時代に即した工夫を適宜行うこと。

- 広告収入の確保については、今まで以上に全庁的な取り組みを推進することにより、さらなる歳入の増加に努めること。

---

## 健康福祉局

---

- 医療を必要とする方々が、介護の必要な状態になっても安心して生活が送れるよう、医療対応型特別養護老人ホームの整備をより一層推進すること。
- 敬老パスの将来にわたり持続可能な制度設計を早急に作り上げること。また、IC化に伴い、利用者の実情を分析することで、サービスの効率化を行うとともに、不正使用等があった場合には、関係機関と連携し、迅速に対処すること。加えて、市民に負担を求める前に、交通局の内部努力により改革を進め、最小のコストで最大の効果が得られるように調整を図ること。
- 高齢者や障がい者など誰もが安心して利用できるよう、公立施設のバリアフリー化を一層進めるとともに、老朽化対策についても適切に実施すること。

---

## 病 院 局

---

- 総務省から示された「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、地域医療構想を踏まえた役割の明確化、経営の効率化、再編・ネットワーク化等を勘案し、「新公立病院改革プラン」を策定すること。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、東部・西部医療センターにおいて、在宅医療を提供する医療機関や介護施設から救急患者を受け入れる等、後方支援を行うこと。

---

## 教育委員会

---

- スクールカウンセラーの採用に関しては、(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士だけでなく、学校教育相談学会、日本教育心理学会等が推すカウンセラー等の積極的な採用を検討すること。
- 小中学校における国際理解教育を見直し、名古屋独自の特色を持った英語教育の推進を検討するプロジェクトを立ち上げること。あわせて、市の遊休施設を利用した『ナゴヤ英語村』の創設に向けて積極的に取り組むこと。
- 教員の事務作業を減らし、子ども達の指導に専念するために、給食費の公会計化も含め、新しいシステムの構築を図ること。
- 市民スポーツのさらなる振興を図り、誰もが気軽に積極的に参加できるように、地域スポーツクラブや地域ジュニアスポーツクラブの支援の拡充に努めること。
- 公立高校入学試験日を直後に控えた現行の中学校卒業式日程のあり方について、全中学三年生とその保護者にアンケートを取ること。

---

## 子ども青少年局

---

- 利用保留児童数が多い地域において、小規模保育事業等の拡充を図るため、市が所有する施設等において事務所の設置が可能な施設を全市的な取り組みとして探し出すこと。
- 授乳及びオムツ換えの場所を設置する公共施設を増やし、乳児を連れた親が安心して外出できる環境を整えること。

- DV（ドメスティックバイオレンス）の根絶、DV被害者保護のため、「配偶者暴力相談支援センター」の体制の拡充を図ること。区役所・病院・警察等と地域が密に連携し、DV対策に取り組むことができるように努めること。
- 貧困の連鎖を断ち切るため、民間との協力体制を強化し、ひとり親家庭の学習支援をさらに充実させること。

---

## 緑政土木局

---

- 都市緑化に大きく貢献してきた街路樹について、その一部の大木化や生育環境の悪化の状況を踏まえ、管理方針・管理基準の見直しにより都市空間をブランディングすること。また、地域に愛される街路樹づくりのため、サポート制度・パートナー制度等により、官民連携しながら街路樹の育成を図ること。
- 公園のスポーツ遊具の設置を推進すること。
- 交通事故防止の一助として、歩行者と車両を区分するための歩道整備・防護柵設置・区画線設置・路肩のカラー化等を進めること。
- 世界の「AIOIYAMA」プロジェクトを早期に進めること。

---

## 交 通 局

---

- 地下街及び駅構内の安全・安心の確保のため、防犯カメラの設置推進や警察との連携による監視パトロールの強化に努めること。

---

## 市民経済局

---

- 区民ニーズに応じた主体的な取り組みを推進するため、自主的・主体的な区政運営予算を増額すること。
- 訪れたい街ワースト1の汚名返上に向けて、観光及び歴史・文化の側面から、先祖・先輩を敬うとともに地域の絆の大切さを知るため、旧町名復活を推進すること。
- 次世代産業育成の観点からロボット産業の振興に積極的に取り組むこと。中でも、名古屋市として、ドローンの開発促進のため、実証実験及び研究の場の提供を検討すること。
- 名駅、栄地区を盛り上げるため、地元の企業・商店街・住民等と連携し、歩行者天国の支援や広小路のにぎわいづくり等、市民参加型の愛される街づくりを推進すること。

---

## 観光文化交流局

---

- 外国人観光客誘致拡大に向けて、名古屋港を活用し、外航クルーズ船の誘致に積極的に取り組むこと。
- なごやめしを地域ブランドとして戦略的にPRするため、毎月8日を「なごやめしの日」と制定し、まずは市民自らがなごやめしを楽しめる機会を創出すること。
- 名古屋城天守閣の木造化を早急に進めること。また、本丸御殿障壁画等重要文化財の展示等、市民が本物の魅力に触れられる機会を創出するとともに、

金シャチ横丁の整備等新しい魅力づくりも積極的に行うこと。

---

## 上下水道局

---

- 耐久年数を過ぎた既設水道管の早期の布設替えを行うこと。
- 緊急雨水整備事業の早期完了を目指すとともに、緊急雨水整備事業に含まれない地域においても、対策を行うこと。また、浸水被害の軽減のため、ハード整備と合わせて総合的な対策を行うこと。
- 上下水道局所有の土地を活用して、歳入確保を行うこと。

---

## 消 防 局

---

- 救急隊を増やす等、救急出動の要請を受けてから救急隊員が現場に到着するまでの時間（レスポンスタイム）の短縮を図り、日本一を目指すこと。
- 消防団員の報酬の支給方法等、報酬の今後のあり方について現場の意見を再度聴取し、検討すること。

---

## 防災危機管理局

---

- 避難所運営にあたっては、災害弱者（障がい者、乳児、高齢者等）や女性等、市民の意見を幅広く聴取し、さまざまな目線でのきめ細やかな運営に努めること。

- 先進自治体の経験や過去の災害の歴史を調査し、市民に対して減災に役立つ情報を積極的に提供すること。
- 原子力災害の防止・事後対策、SPEEDIによる情報公開ルールの策定に取り組むこと。

---

## 住宅都市局

---

- 中志段味特定土地地区画整理事業における再建計画策定を積極的に支援すること。
- 堀川を活用した名古屋城までの船上ツアーや、中川運河、名古屋港の水上交通を整備し、市内の観光地へのアクセスを充実させ、観光客等の市内滞在時間を増やす街づくりを進めること。
- 栄地区グランドビジョンに基づく久屋大通公園の北部一帯の整備について、近隣住民だけでなく関係企業やまちづくり団体とも連携を図り、南部への影響も十分に考慮しながら、栄全体の魅力向上とともに新たな活力を呼び起こすような事業展開とすること。